

所 報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第184号 令和6年5月29日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

- ・ 第1回小学校外国語教育指導連絡協議会開催について
- ・ 令和6年度江別市教育研究所事業計画

第1回小学校外国語教育指導連絡協議会を開催

5月20日（月）に、今年度第1回目の小学校外国語教育指導連絡協議会が開催されました。教育研究所長の佐藤学教育部長の挨拶に続き、今年度の組織体制が確認されましたが、会長に野幌若葉小学校の高橋基校長、副会長に野幌若葉小学校草野智大教頭が選任されました。

協議会では、市内での外国語教育を進めていく上で、生じてくる課題を協議会メンバーで対応していくこと、今年度の事業計画についての確認が行われました。また、市内で指導用資料の共有化を図るために、データの蓄積を進めていることや、教科書の改訂に伴い、「中学校入学までに身に付けさせる」学習リストについても確認が行われました。

更に、協議会の後半では、事前に集約したアンケート課題「①中学校との系統的教育課程の編成の工夫、②指導において抱えている不安、③指導連絡協議会で情報交流したいこと」について交流が持たれました。（下記内容：事前調査で上げられた主な意見）

1 系統的教育課程の編成の工夫について

- ・ 中学校区の合同研修や特別委員会（設置）での指導計画・重点の確認や、情報交流の強化
- ・ 中学校入学までの系統的な学習計画の作成と、それに準じた学習指導の推進
- ・ 中学校区内での出前授業や交流による指導方法・内容の確認
- ・ 聞き取り、会話の指導に加え、「書く」力を身に付けさせる指導の強化

＜確認事項＞

- ① 教科書に記載されている学習内容に沿った編成が基本とする。
- ② 小学校と中学校の身に付けさせるための支援方法の共有がカギとなってくる。基本的な授業スタイルを確立させ、見通しを持たせられる支援を進めていく。

2 外国語指導で不安なこと、気になっていることについて

- ・ 授業方法や評価方法等、どのような工夫を行っているのか交流の場を増やす要望について
- ・ ALTの時数増や配置など、効果的な学習ができる環境を整えていくための要望について
- ・ 外国語専科の配置について今後どのように進んでいくか？
- ・ 新しい教科書への転換によって、これまでの資料等が使えなくなるなどの指導への不安について
- ・ 市内で「書く指導」の系統的な学習計画を明確化させることについて
- ・ 苦手意識を持つ児童への支援方法の工夫について
- ・ 複式学級での指導方法について（音声が混じり合う中での支援方法の工夫）
- ・ 特別支援学級における指導方法の工夫について

＜確認事項＞

「書く指導」の工夫 ～ 身に付けさせる基本文型を指導者が完全に把握し、「書く」力をつけるための練習時間を授業に位置づける。（反復学習を中心に定着化）

3. 指導連絡協議会で情報共有したいこと

- ・ 評価方法の工夫について
- ・ テストを採用、活用している学校の状況について
- ・ タブレットやICTの活用について
- ・ 「書く活動」の取り組み状況や、中学校までに求められる能力について
- ・ 特別支援学級での取り組みの様子について

令和6年度 江別市教育研究所 事業計画

5月7日(火)に第1回所員会議が開催され、今年度の組織体制の立ち上げと、令和6年度の江別市教育研究所の事業計画について協議が行われました。江別市内の教職員研修充実に向け、夏休みに実施される夏期セミナー等、下記のような内容で計画を立てさせて頂きました。

1. 所員会議

年間6回の会議を行い、教職員の研修事業、調査研究事業などを進めます。

2. 教職員研修「夏期セミナー」

7月29日(月)～31日(水)まで、道立教育研究所をはじめ教育機関等から講師を派遣していただき、3日間6講座を開催いたします。

3. 調査研究報告書No.40の発行

児童・生徒を中心に学習や生活などに関する意識調査を行い、集計し分析・考察を加えてまとめたものを各学校や教育関係機関に配付します。

今年度は、上江別小・いずみ野小・野幌若葉小・野幌小・大麻西小・文京台小・中央中・江陽中・大麻東中の9校にアンケートの協力をお願いします。

4. 小学校外国語教育指導連絡協議会の運営

(1)会議開催 年間2回(5月、1月)

(2)研修会 市内中学校英語授業参観・意見交流会
小学校外国語活動授業参観・意見交換会

11月～12月の間に企画

(3)指導計画編集委員会 小学校外国語教育に関しての残された課題について検討する。

5. 江別市体力向上事業

(1)走り方教室

小学生に正しい走り方や練習の仕方などを身に付けさせるために、北翔大学の協力を得て実施します。

(2)「スポーツトライ教室(通称:スポトラ)」普及出前授業

運動に楽しく取組ながら、各学校の運動課題点の解消を目的とした北翔大学の「スポーツトライ教室」の出前授業します。輪番制による実施で、アンケート調査と合わせながら、今年度はいずみ野小学校、江別太小学校、北光小学校、東野幌小学校、大麻東小学校、江別第一小学校の6校で実施します。

6. 所報の発行

教育長の挨拶、研究所事業計画・報告、小学校外国語教育の推進と報告、体力向上の推進と報告、夏期セミナーの案内と報告、道研連研究大会の報告などの内容で、年間7回程度発行し情報提供します。



令和6年度 教育研究所所員一同の写真



令和6年度 江別市教育研究所体制

所 長	佐藤 学	教育部長
副所長	堂前 敦	学校教育支援室長
副所長	近藤 弘隆	大麻東小学校長
所 員	佐々木康人	東野幌小学校教頭
所 員	折田 麻邑	江別第二小学校教諭
所 員	吉原 智子	東野幌小学校教諭
所 員	山平 英史	大麻中学校教諭
所 員	藤田 生	野幌中学校教諭
事務局長	高橋 秀明	教育研究所
事務局次長	森田 俊平	学校教育課教職員係主任